いきいき・わくわく自治会活動報告

# 連合会報

編集発行
茨木市自治会連合会
事務局
〒567－8505
茨木市駅前三丁目８番１３号
茨木市役所
〈市民生活部市民活動推進課内〉
電話　620-1604（ダイヤルイン）
VEGETABLE OIL INK　環境にやさしい植物性インキを使用しています。

## 視察研修会

本会では、例年、連合会の活動や運営の参考とするため、先進都市への視察を実施しております。

今年は防災意識の高揚を図るために兵庫県佐用町役場へ視察に行ってきました。

平成24年11月29日（木）に31地区・校区の連合会長のうち21名の連合会長の参加で視察を実施しました。

佐用町では、平成21年の台風9号の影響による記録的な大雨で町のほとんどが水没する大変な被害を受けられており、その時の状況を企画防災課の職員の方からスライドなどを使い詳しく説明を受けました。

お話しの中で、避難所へ向かう途中に住民の皆さんが川は、助け合って渡った後に、避難所近くの用水路（普段は、50㎝程の深さ）の水の勢いがものすごく強くて流された方もあったということをお聞きしました。

このような、普段生活している中で、わかっていた用水路で流されるということもあり、佐用町では、国や町がハード面を強固にするのには限界があるということを住民に伝えながら地域での危険箇所マップ作りや要救助者の名簿の作成などを呼びかけ、普段より防災に対する意識の向上に努めているとおっしゃっていました。

佐用町の連合会の役員の方のお話の中で、携帯電話の普及により、他の地区の自治会長の連絡先を登録していることにより、離れた場所からお互いの地区の被害状況や避難所等での対応などについて、スムーズに連絡を取り合うことができたのは、時代の流れではありますが、助かりましたとのことでした。

懇談の中で、災害時に一番大切なことは何でしょうか。という質問に対して、佐用町の連合会長のお話で、ふだんからの住民どうしの『絆』です。と答えをもらいました。

『いざという時は、隣どうし、近所の住民間での結束力が身の危険を避け、命を繋ぐという結果をもたらすことになる。』と力強くお話しをされていました

普段からの住民間の「絆」が大切なことだと再認識しました。

| 回覧 | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | |



## 地区・校区連合自治会長研修会

本会では、例年、会員及び地域の方を対象に自主研修会を実施しております。

今年度は、総会時に防犯活動に対する取り組みの強化を図るということが提案されておりましたので、平成25年2月13日に、「茨木市における犯罪の状況と地域での防犯」というテーマで各地区・校区から63名の方にお越しいただき研修会を開催いたしました。

今回は、各地区の連合会長だけでなく、地区で地域活動にたずさわっていただいている方にもご参加いただきました。

茨木警察署の生活安全課から課長、防犯係長の２名をお招きし、「茨木市の犯罪の状況」について、スライドや資料を基に、お話しをお聞きしました。

茨木警察のお話しでは、茨木警察署館内での犯罪件数は、年々減少している傾向がみられるが、決して犯罪が少ない市町村でないということを認識しました。全国でも犯罪の多い大阪府の中で茨木市の犯罪率（人口に対する犯罪の発生件数の比率）は、府下43市町村中20番目前後にあたるということですので、今後も地域での防犯対策・活動の必要性を強調されていました。

◎ひったくり→自転車にひったくり防止カバーの取りつけなど
◎空巣や侵入犯→かぎの施錠、窓などに防犯フィルム、ベランダや出入り口に防犯アラームや防犯センサーライトの取り付けなど
◎車上荒し、自動車盗→施錠、盗難防止装置の取り付け、車内に貴重品などを置かないなど

犯罪に対する心構え、防止策などをご教示いただきました。

事例発表ということで、西小学校区防犯支部長の増田様より「春日丘地区あんしんパトロール隊」の活動の発表がありました。沢池・西小学校区が連携をはかり、春日丘八幡宮を活動拠点にし、約60名のメンバー（ボランティア）で地元の２つの小学校児童の登下校の見守りや第二土曜日の巡回（徒歩による）パトロール、青色パトロールカーを活用しての地域パトロールなどの活動をされています。

地元の方から自治会に軽自動車の寄付があり、警察に届け出をし、青色回転灯を装備した、春日丘地区専用の青色パトロールカー、通称「ラビット号」を活用し、主に小学生の下校時の見守りに利用されているとのことでした。

１時間30分程の研修ではありましたが、参加いただいた方は熱心にお聞きいただき、質疑・応答、懇談の中でも活発な意見交換ができたことで、今回の研修の意義があったものと思っております。今後も茨木市自治会連合会では、防犯に対する取り組みを強化してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

## 自治会長説明会

茨木市との共催で今年度も自治会長説明会を４月２５日（木：夜）と５月１２日（日：昼間）の２回実施する予定をしております。

この説明会は、平成２３年度から実施しているもので、新たに自治会長になられた方向けに、自治会長の一年のおおまかなスケジュールや市との関係を説明するものであります。

案内につきましては、市からの３月１５日発送の自治会長宛文書にて送付いたします。

新たに自治会長になられる方は、是非ご参加くださいますようお願いいたします。

# 地域・学校・NPOの連携で取り組む『被災地復興活動』を支援しています

茨木市の玉島地区と水尾地区の連合自治会及び葦原地区の自主防災会では、大阪府立北摂つばさ高校の生徒さん達が中心となって進めている『東日本大震災復興支援活動』に関して、ホスト家族募集のチラシを全戸配布するなど、被災地復興支援活動の支援に取組んでいます。

その状況を、がんばろう！つばさネットワーク事務局長の藤井先生のお力添えを得まして、お報せ致します。学校周辺の自治会をはじめ各種団体のご協力のもと、進める事ができましたことを、連合会報の紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

被災地への復興支援活動は、末永く着実に続けることが大変重要な事であります。

その為には、活動の輪を広げつつ必要経費を捻出するなど内容を充実させることが喫緊の課題であり、皆様方の一層のご理解とご協力の程、お願い申し上げ報告とさせていただきます。

玉島地区連合自治会　長田佳久

東日本大震災を目の当たりにした生徒の「何かせな、あかん」の気持ちにこたえて、北摂つばさ高校の保護者・地域・教職員の有志で「がんばろう！つばさネットワーク（代表 松野雅一）」を起ち上げました（2011年4月22日）。

任意団体として1年半の間に、気仙沼訪問を3回、気仙沼からの高校生受け入れを2回、実施しました。別表をご参照願います。

皆様方からお寄せいただきました善意の義援金（4回で合計八四四，八〇八円）は、気仙沼高校はじめ関係者に手渡す事ができました。

2回の気仙沼からの高校生の招待については「がんばろう！つばさネットワーク」、北摂つばさ高校と大阪市立大学大学院の共生社会東日本地震被災者救援・支援の会（理事長 柏木宏 大阪市立大学大学院 教授）の三団体が共催で実施しました。

ホスト家族の募集を、玉島地区と水尾地区の連合自治会、葦原地区自主防災会にお願いし、2年連続で（13名と15名）ゲストを受け入れることができました。

それぞれのホスト家族の皆様には、被災地からの高校生に心身を癒やしてもらうべく、それぞれに心配りをしていただきました。

「気仙沼の高校生を招待している、って口コミで話題になっているよ」「赤十字だけでなく、『つばさ』さんに寄付するのもいいわね」「地域のつながりづくりに貢献しているね」と、声を掛けていただくこともあり、つばさネットワークとしても嬉しい限りです。

また、100名を超える北摂つばさ高校の生徒がゲスト生徒をホスト家族と高校の間でエスコートする役割を担いました。北摂つばさ高校の生徒と地域にお住まいの皆様が「震災復興支援」という一つの目的のもとに、協同事業を展開しているかのようです。

2013年度は、7月に気仙沼の現地へボランティアを実施し、年度末の2014年3月に気仙沼高校の硬式野球部を招待します。

今年度もホスト家族をお願いすることになります。

皆様のお力をお借りしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

大阪府立北摂つばさ高等学校 首席
がんばろう！つばさネットワーク事務局長
藤井伸二

ご質問ご意見など連絡先は、茨木市自治会連合会の事務局にお問合せ願います。

始めての募金活動を終えて

「こころの再生」府民運動　表彰式
（左は大阪府　中西正人教育長）

拝啓　春暖の候、時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

このたびの東日本大震災に際しましては、多大なる御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。心温まる御支援により被災された方々はもちろん、災害対応に当たる関係者も大きく勇気づけられ、励ましになりました。

未曾有と言った大地震と大津波は一瞬にして多くの尊い生命を奪い、住み慣れた町を根こそぎ破壊しました。

悲しみ、苦難を乗り越え、逞しく手を携えて、ふるさと宮城の再生ときらなる発展に向けて全力を挙げて取り組んでいく所存でございますので、引き続きお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

このたびお寄せいただきました御厚情に対し感謝ながら書中をもって御礼申し上げますとともに、皆様の御発展と御健勝をお祈り申し上げます。

平成二十四年三月
宮城県知事　村井嘉浩

敬具

宮城県知事からの礼状

## 平成25年度の被災地復興支援活動について（計画のお知らせ）

①平成25年度　気仙沼訪問　◎は確定
日時　平成25年7月19日出発　23日帰着
対象　高校生など40名　　備考　大型バスをチャーターする予定です。

| | 7/19（金） | 7/20（土） | 7/21（日） | 7/22（月） | 7/23（火） |
|---|---|---|---|---|---|
| 午前 | 終業式 | 陸前高田、聞き取り | 大島支援活動◎ | いわいざき視察 | 7:00 到着 |
| 午後 | 募金活動 | 鹿折視察、聞き取り | 同上　聞き取り◎ | ◎気仙沼高校交流 | |
| 夜 | 20:00 出発 | ◎八瀬・森の学校 | ◎八瀬・森の学校 | 17:00 出発 | |

②平成25年度　大阪での交流（招待）（確定）
日時　平成26年3月27日16:00出発　31日7:00到着
対象　硬式野球部部員　引率教員　　備考　大型バスをチャーターする予定です。
※練習試合の対戦校は下表のとおりです。会場は、全て北摂つばさ高校です。（予定）

| ◎ | 3/27（木） | 3/28（金） | 3/29（土） | 3/30（日） | 3/31（月） |
|---|---|---|---|---|---|
| 午前 | | 選抜高校野球観戦 | 練習試合※(1) | 練習試合※(3) | 7:00 到着 |
| 午後 | | 同上 | 練習試合※(2) | 練習試合※(4) | |
| 夜 | 16:00 出発 | ホームステイ | ホームステイ | 17:00 出発 | |

③協力団体、後援団体（予定・調整中を含む）
大阪府立北摂つばさ高校、茨木市玉島地区連合自治会、同水尾地区連合自治会、同葦原地区自主防災会
ASPnetOsaka（ユネスコ・スクール大阪）　大阪府教育弘済会　他団体とも順次調整していく予定です。
※(1)(2)金光大阪高校　※(3)茨木高校　※(4)北摂つばさ高校



東日本大震災からの復興を支援する「がんばろう！つばさネットワーク」の活動は、被災地に勇気と希望を与えるものであり、北摂つばさ高校の皆さんの頑張りを大変たのもしく感じております。

今後も被災地の高校生との絆を深められるとともに、地域・保護者・教職員の皆さまには、それぞれの立場でこの活動をサポートしていただきますようお願い申し上げます。

茨木市長　木本保平

茨木市長からのメッセージ

気仙沼高校に義援金をお渡しする　松野雅一代表

公園のヘドロ除去作業の様子

気仙沼　北摂つばさ　高校生交流を終えて

| | 日付 | 活動内容（2011.4.22 から 2013.2.28 まで） | 参加者（人） |
|---|---|---|---|
| | 20110311 | 東日本大震災発生（地震、津波、原発事故） | |
| | 20110422 | がんばろう！つばさネットワーク発会 | 35 |
| | 20110424 | 茨木市駅前街頭募金（20110502と合計2回） | 80 |
| | 20110502-05 | 気仙沼現地ボランティア（役員1名、つばさ生29名、教員6名他） | 48 |
| | 20110711 | 大阪府教育長表敬訪問（役員2名、つばさ生8名、教員5名） | 15 |
| | 20110713-22 | 茨木市駅前街頭募金（7/13、15、21、22合計4回） | 135 |
| A | 20110803-05 | 気仙沼高校生の大阪招待（生徒11名、教員2名）＋送迎・交流の北摂つばさ高校生徒＋役員1名 | 195 |
| | 20110910 | 文化祭での現地ボランティア、大阪招待の写真展示 | 60 |
| | 20111001-20 | 北摂つばさ高校生徒・保護者アンケート実施 | 753 |
| | 20111111 | 国連安保理　外交官　川端清隆氏による特別授業を後援 | 120 |
| | 20111112 | 水尾地区自主防災会　自主防災集会での報告 | 4 |
| | 20111214-22 | 茨木市駅前街頭募金（12/14．15．19．20．22合計5回） | 135 |
| | 20111222-26 | 気仙沼現地ボランティア（役員1名、つばさ生9名、教員3名） | 30 |
| | 20120318 | 気仙沼高校卒業生を囲んでホスト家族交流会 | 25 |
| | 20120326 | 大阪府「心の再生」府民運動表彰式 | 4 |
| | 20120424-0502 | 茨木市駅前街頭募金（4/24.27と5/2の合計3回） | 210 |
| | 20120502-06 | 気仙沼現地ボランティア（役員1名、高校生27名、教員4名）気仙沼35名、気仙沼西12名、本吉響4名、志津川7名と交流 | 102 |
| | 20120712-0804 | 茨木市駅前街頭募金（7/12．13．17．18）、茨木フェスタ（7／30．31）、水尾祭り（8／3．4） | 130 |
| B | 20120810-12 | 気仙沼高校生の大阪招待（生徒40名、教員4名）＋送迎・交流の北摂つばさ高校生徒、役員1名 | 155 |
| | 20120811 | 震災復興ユースフォーラム　大阪府立高校生55名　大阪府民130名　被災地からの参加44名 | 229 |
| C | 20120908 | 文化祭での現地ボランティア、大阪招待の写真展示 | 70 |
| | 20120915 | 東淀川区民祭り | 32 |
| | 20121103 | 東淀川区人権のつどい | 5 |
| | 20121110 | 南中フェスタ | 30 |
| | 20121111 | 茨木市民活動フェスタ | 4 |
| | 20121112 | 被災地訪問高校生交流会 | 5 |
| | 20121209 | ボランティア・スピリット・アワード表彰式 | 2 |
| D | 20130116-17 | 東日本大震災復興支援ボランティア写真展 | 141 |
| E | 20130210 | 葦原自主防災会　自主防災集会での報告 | 7 |
| F | 20130302 | 茨木市市民活動センター震災ボランティア集会（茨木市市民活動センター、関西大学、がんばろう！つばさネットワーク三者共催） | 調整中 |
| | | 合計 | 2,761 |

募集チラシ配布・回覧世帯数（軒）

| | 周知方法 | 玉島連合自治会 | 水尾連合自治会 | 葦原自主防災会 | 北摂つばさ高校生 | 茨木市全域 | 周知世帯合計 | 応募世帯数（軒） | 受入可能人数（人） | 受入ゲスト数（人） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| A | 配布 | 2,000 | 700 | | 800 | | 3,500 | 14 | 28 | 13 |
| B | 配布 | 2,000 | 2,500 | 100 | 800 | | 5,400 | 16 * | 34 ** | 15 *** |
| C | 回覧 | 2,000 | 2,500 | | 800 | | 5,300 | | | |
| D | 回覧 | 2,000 | 2,500 | 1,500 | 800 | | 6,800 | | | |
| E | 回覧 | | | 1,500 | | | 1,500 | | | |
| F | 回覧（予） | 2,000 | 2,500 | 1,500 | 800 | 850 | 7,650 | | | |
| | 周知世帯 | 10,000 | 10,700 | 4,600 | 4,000 | 850 | 30,150 | 30 | 62 | 28 |

＊16軒＊＊34＊＊＊15人は茨木市内のみの数字。ゲスト44名のうち、気仙沼高校ダンス部29人（生徒27．教員2）は新幹線の関係で東淀川区の集会所に宿泊。